

# 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)

## 2022年度(令和4年度)第2回定時理事会 議事録(案)

[1]開催:2022年9月6日(火)13:00~17:30

・会議形式:実会議とインターネット・ウェブ会議(ZOOM)併用

・主催会場:Japan Sport Olympic Square 14F岸清一メモリアルルーム(東京都新宿区霞ヶ丘町4-2)

[2]出席:理事34名、監事2名

岩城光英、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫(入室17:15)、岸田吉史、原澤敦美、齋藤れい、森幸、高谷正哲、原晋(退出14:10)、中山俊行、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、川添勝、須山浩光、村上幸生、宮城直久(以上理事18名会場出席)

飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、和田知子、村瀬訓生、関根明子、山根英紀、富川理充、上田藍、佐藤圭一、石井なおみ、菊池日出子、土田和歌子(退出14:40)、島津寿江、宮本悦子、大野徹雄(以上、理事16名オンライン出席)

秋山智昭(14時00分入室)、荻原政吉(以上、監事2名オンライン出席)

・オブザーバー(7名)

小林洋アンチドーピング委員長、近藤邦宏トライアスロンHPTAD、土屋佳司パラトライアスロンHPTM、(以上3名会場出席)

伊藤一博技術委員長、笠次良爾メディカル委員長、森谷直樹情報戦略・医科学委員会委員長、平松弘道マルチスポーツ対策チームリーダー(以上4名オンライン出席)

・事務局出席(9名)坂田洋治、児玉健太・萩原舞(議事録作成)、長江千明、則俊直哉、島村直子、小池賢、大岩葵、内藤裕也、

[3]議事の経過

JTU定款第6章(理事会)第34条(決議)により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。会議の冒頭に弔事対応を行い、定款33条(議長)により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、定款第23条(理事の職務及び権限)により、会長が業務執行理事を含む職務執行について報告した後に、新任理事5名の紹介を行った。その後、定款第35条(議事録)により、岩城会長、萩原監事を議事録署名人、大塚専務理事、園川理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名した。議案の審議に先立ち3件の報告事項の説明を事務方より行った。

[4]決議事項:

第0号議案)前回議事録

2022年6月21日 臨時理事会の議事録について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項)2022年度(令和4年度)臨時時理事会(2022年6月21日開催)議事録(案)

第1号議案)国際大会開催・国際会議(招致計画)

標題について、坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1)2023アジアU23/ジュニアトライアスロン選手権(個人・リレー)及びアジアトライアスロン総会(役員選挙)の愛知県蒲郡市開催の概要

・承認事項2)2024アジアトライアスロン選手権(エリート・U23・ジュニア・パラ・リレー)の日本開催地の公募実施

・承認事項3)2022-2023横浜WTCS/WTPS、大阪城WTC、宮崎WTC、アイアンマンなどの国際大会の開催の方向性

・説明骨子)2022年横浜大会の債務は返済し、2023年の借り入れが決定している。ワールドトライアスロンカップの大阪城、宮崎での開催予定、愛知県豊橋市でのアイアンマン・ジャパン等の開催予定等。

・承認事項4)2023アジアトライアスロンカップ日本開催地の公募実施

・説明骨子)現時点で2023年度のアジアトライアスロンカップの開催地は未確定。エリート選手のポイント獲得、活躍の場の創出のため、国内開催地のため全国に開催地の公募を行う。

第2号議案)2023年度各種選手権/主要大会(開催予定)

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)2023年度各種選手権、主要大会の開催予定及び、新規選手権の開催検討案

日本トライアスロン選手権(2023/東京・台場)・・・10月15日

日本エイジグループトライアスロン選手権(2022/宮崎)・・・10月29日

日本ロングディスタンストライアスロン選手権(2023/佐渡)・・・9月3日

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体・・・10月8日

\* 他選手権の開催地・日程未定

第3号議案)登録会員制度の方針

標題について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後に、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)登録会員制度の方向性

・説明骨子)コロナ禍の登録会員減少に向けた改善策として会員登録制度に向けた改善の検討を進める。名称などの変更は定款・細則の変更も必要なことから、加盟団体の意見徴収機会も踏まえ、次年度以降の対応を進める。

・検討事項1)名称のあり方の検討

登録の名称を「JTU登録」から「都道府県競技団体・学連登録」または、「都道府県競技団体・学連JTU登録」「トライアスロン都道府県競技団体・学連登録」と加盟団体登録を前面に押し出し、登録促進施策の検討。

・検討事項2)登録費支払い方法

翌年以降の更新の際の登録作業を自動更新化を目的に、クレジットカードによる自動引き落としの導入を検討。

・検討事項3)ワンデー(一日)登録制度

トライアスロン初心者や大会参加の少ない層の参加促進や未登録者に対して大会出場時促進等を目的に「ワンデー登録制度」導入を検討。

第4号議案)World Triathlonのトランスジェンダー制度の方針に対する意見と国内方針

標題について大塚専務理事及び和田常務理事から説明があり、質疑応答の後に、議長が継続審議に関する賛否を求めたところ、上田理事、佐藤理事が棄権の旨を表明したが、棄権2名、賛成多数で承認可決した。なお、上田理事、佐藤理事の棄権理由は一選手として利害関係あたると判断したためである。

・承認事項)トランスジェンダー制度に対する対応方針(継続審議)

ワールドトライアスロン(IF)のトランスジェンダーへの対応方針について複数の課題が確認された。そのため、本案は継続審議とし、今後のIF状況、国内情報を集約する。

第5号議案)強化関連

5-1)強化基準関連

標題について事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、承認事項1)2)3)については、満場一致で承認可決した。承認事項4)については、反対1名、賛成多数で承認可決した。なお、中山俊行理事の反対理由は、推薦施設の一つに専任のナショナルコーチが常駐していないことである。

・承認事項1)2023アイアンマンプロ登録証明書発行基準

・承認事項2)2022年JTUパラトライアスロン強化指定選手(新規・更新)

・承認事項3)ワールドビーチゲームズ(2023/パリ)選考基準(案)

・承認事項4)JOC認定競技別強化センター(夏季競技)推薦

- ・施設名1: ロンドフィットネスクラブ東村山(新規)
- ・施設名2: チームケنز山梨(継続)
- ・施設名3: 稲毛インターナショナルトライアスロンクラブ(継続)
- ・主要意見)本推薦制度について、従来の推薦施設は専任の指導者が常駐していた。本年度の推薦施設名3について、専任の指導者が常駐していないことから推薦要件の充足についての確認事項があり、事務方から、JTUハイパフォーマンスチームディレクターが施設所有者と連携構築できており、選手強化活動が効果的に行う体制が整っていることから推薦要件は満たしていることが説明された。

## 5-2) 海外拠点事業

標題について山根理事から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項5) 海外拠点スタッフ/フランス拠点の活動方針

海外拠点スタッフのJTUトライアスロン・ハイパフォーマンスチーム専門スタッフとしての活動を再開をする。ただし、今後のフランス拠点の日本選手受入は、慎重に審議を行う。

## 第6号議案) 日本トライアスロン選手権(2022/東京・台場)技術代表・審判長(案)

標題について事務方より、石井理事が、本件対象者のため利益相反となり一時退席を要請した後、議長が賛否を求めたところ、質疑などないことが確認され満場意義なく承認可決した。

- ・承認事項) 日本トライアスロン選手権(2022/東京・台場)/日本U23トライアスロン選手権(2022/東京・台場)技術代表・審判長

技術代表 : 小田智子(JTU第1種審判資格/東京)、男子審判長 : 花井哲(JTU第1種審判資格/神奈川)、女子審判長 : 石井なおみ(JTU第1種審判資格/千葉)

## 第7号議案) 専門委員会委員の追加

標題について事務方より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) マルチスポーツ対策チーム: 金子泰久氏(医学博士/東京)
- ・承認事項2) 情報戦略・医科学委員会: 山本真帆氏(スポーツアナリスト/東京)

## [5] 報告事項(第1部) 議事開始案前に実施。

### 1) 海外練習中での事故事象報告

故・宮崎集選手に関わる事故事象に関して事故発生からの対応状況について報告があった。最終報告はフランス当局からの事故報告書が届いてから(現時点で未達)回覧を予定。日本選手権での弔辞対応の実施予定であるほか、お別れの会の開催については実施日含め未定であることが説明された。

## 2) 危機管理及び通報・相談関連事象

危機管理事象として業務執行部会で審議及び経過の確認を行なっている案件について報告があった。

2-1) クラブ所属の選手がコーチを裁判に訴えた案件(JTU が環境整備違反により共同被告になっている訴訟案件)の現況報告。なお、現在、進行中につき、対象者などの詳細は割愛する。

2-2) エイジグループ大会での選手の年齢詐称事案。対象選手の所属加盟団体が対応中。

2-3) 豪雨災害による大会中止の案内のタイミングについての意見。

・主要意見) 荻原監事、原澤理事より通報相談窓口の利用対象範囲の周知、通報相談窓口の利用に関する案内方法などの改善検討の提案があった。

## 3) マーケティング報告

東京2020オリンピック・パラリンピック大会組織委員会関連のスポンサー契約関連の報道も受け、あらためてJTUオフィシャルパートナー、サポーターの決定プロセスについて説明された。今後も、継続して各社の状況など理事会で報告されることが補足された。

[6] 報告事項(第2部)議事終了後に実施。

### 4) 2022年事業関連進捗状況(大会、支援事業、セミナー、健康事業)

セミナーフォーラム委員会(岸田吉史委員長)より、2022年度の実績と予定健康ゆるゆるトライアスロン事業の実施例の紹介等。

### 5) JTU中長期計画策定の進捗状況

理事ヒアリングの進捗状況。2022年12月を目途に加盟団体・関係者へ開示を予定。

### 6) 法人化進捗報告

長崎県協会及び九州ブロックの進捗状況、東京都連合の加盟市区町村組織(港区トライアスロン連合)の法人化報告と、各ブロックへの引き続き促進の依頼等。

### 7) ガバナンスコード2022年度自己説明更新方針

[原則1]基本計画の策定・公表の更新、[原則5]コンプライアンス教育の推進状況、[原則10]倫理コンプライアンス規程の一部更新検討、[原則13]地方組織等ガバナンスの確保に向けた取り組み内容の追記。

### 8) 強化報告

山根トライアスロンHPTディレクター、富川パラトライアスロンHPTディレクター及び、平松マルチスポーツ対策チームリーダーからの強化戦略に基づく活動報告等。

### 9) ブロック会議予定

関東ブロックより会員登録状況、新規大会となる富士河口湖トライアスロン大会の報告、千葉シティ大会の次年度以降のワールドカップ公募への応募予定等。

[7] 審議進行に関わる確認

議長に代わり事務方が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや、発言できなかったことなどがないかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[8]次回理事会:

2022年12月9日(金)2022年度第3回定時理事会開催予定

[9]閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ。17時40分に閉会した。

[10]議事録署名と確認:

上記議事の経過及び結果を証するために、定款第35条(議事録)により、会長と監事及び議事録確認者が署名又は記名押印する。

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2022年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2022年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2022年 月 日

(園川峰紀・理事) (印) 2022年 月 日

=以上=